

令和 7 年度第 2 回昭島市学校給食運営審議会（議事録）

令和 7 年 10 月 27 日

於 学校給食共同調理場 2 階 Let's 食育研修室

会長

本日は、委員の皆さま方には、御多用のところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

これより、令和 7 年度第 2 回昭島市学校給食運営審議会を始めたいと存じます。

それでは、議事に先立ちまして、青柳学校教育部長から御挨拶申し上げます。

学校教育部長

本来であれば、山下教育長から挨拶をさせていただくところではありますが、急遽所用により欠席となりましたので、委員の皆様方に、くれぐれも宜しくお伝えするよう仰せつかっておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、令和 7 年度第 2 回学校給食運営審議会に大変お忙しい中、お集りいただきまして誠にありがとうございます。

先月、第 1 回学校給食運営審議会の時は、まだ暑い時期で、会場も冷房が入っていましたが、急激に気温が低下し、委員の皆様方におかれましては、体調に十分に御留意いただければと思います。

本審議会につきましては、前回審議会において、現在の学校給食運営のあり方についてのなかで、現在の学校給食費に関し、平成 21 年度から見直しを行っていないこと、また、昨今の食材料費高騰等により、大変厳しい状況にある現状について、御説明をさせていただいたところであります。

本日は、更に具体的な状況について、お示しをさせていただき、委員の皆様より、様々な御意見を頂戴できればと考えているところでございます。

本日も限られた時間ではありますが、是非とも、有意義な審議会となるよう、宜しくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、冒頭の御挨拶とさせていただきます。

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、議事に入る前に事務局から他にありますか。</p>
学校給食課長	<p>改めまして、皆様こんばんわ。</p> <p>事務局から、配布資料の確認をさせていただきます。本日の配付資料は、本日の「日程」、また、事前に送付させていただいております「（資料１）学校給食運営のあり方について」、以上が本日の配布資料となります。過不足はございませんでしょうか。</p>
会長	<p>それでは、只今より議事を、進行してまいりたいと存じます。</p> <p>議題（１）「学校給食運営のあり方について」事務局より、説明を求めます。</p>
学校給食課長	<p>先般、令和７年９月３０日に開催いたしました第１回学校給食運営審議会において御説明させていただきました学校給食運営のあり方につきましては、現状の学校給食提供にあたり、物価高騰に伴う食材価格の上昇等による影響や学校給食摂取基準を満たす等の理由から、学校給食費の改定が必要である旨報告をさせていただき、その必要性について御理解を賜ったところでございます。</p> <p>本日は、現状の献立内容を基に食材料費の現状、食材料に係る給食費の試算をいたし、改定額の案をお示しさせていただいております。その内容を御説明させていただきます。</p> <p>はじめに資料１の２ページを御覧ください。</p> <p>本日の内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> １ 学校給食費設定の考え方 ２ 食材料費の状況 ３ 改定後学校給食費（案） ４ 学校給食の更なる充実に向けて ５ 今後のスケジュールの５点でございます。 <p>はじめに、１ 学校給食費設定の考え方でございます。３ページに記載のとおり、前回にもお伝えさせていただきましたとおり、本市学校給食の基本理念といたしましては、</p>

～未来を担うたくましい昭島っ子の心とからだを育む給食～を目指しまして、子どもたちの成長のため、栄養バランスのとれた学校給食の提供と食に関する教育の推進に努めております。

学校給食の基本方針といたしまして、

①安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい学校給食の提供

②学校給食を通してさらなる「食育の推進」

③学校給食の安定した提供と効率的、効果的な運営

以上、3点を基軸として基本理念の実現に努めております。

4 ページを御覧ください。

2 食材料費の状況でございます。

令和2年度と令和7年度の主食、牛乳、おかずに係る食材料費の比較をお示ししております。

ごはん、パン、めん等の主食と牛乳の価格が、高騰しており、汁物、主菜、副菜のおかずに使用できる金額が年々減少している状況にあります。

さらに、主菜や副菜に使用する肉や魚、野菜や果物等の食材料も上昇が続いていることから、多様な食材を使用した献立の提供が難しくなっている現状にあります。

主食では、令和2年度小学校中学年に係る食材料費は、21.40 円、令和7年度が 40.73 円、令和2年度中学生に係る食材料費は、28.62 円、令和7年度が 53.91 円。

牛乳では、令和2年度小・中学生共に係る食材料費は、52.32 円、令和7年度が 64.44 円。

おかずでは、令和2年度小学校中学年に係る食材料費は、159.98 円、令和7年度が 191.08 円。

令和2年度中学生に係る食材料費は、197.57 円、令和7年度が 241.10 円、図表からもおかずに係る経費割合がかなり減少しております。

前回にも御説明させていただきましたとおり、お米の価格も高止まり傾向にあり、牛乳単価も1年におよそ4円ずつ上昇しています。

中段に記載をしておりますとおり、給食費に加え、1食あたり市の補助金を令和2年度は6円、令和7年度は40円

で提供を実施しております。

次に、5 ページ、食材料費の状況、給食費の試算を御覧ください。

献立原案から同じ献立を基に令和2年度と令和7年度の食材料単価で試算いたしますと、表に記載のとおり小学校で約 67.55 円、中学校で約 87.42 円の増となり、食材料費の増加が顕著でございます。

6 ページを御覧ください。

3 改定後の学校給食費（案）をお示しさせていただいております。

改定にあたりましては、学校給食摂取基準を満たす献立の食単価や食材料費の上昇、また多摩地区 25 市の状況を鑑み、御提案いたすものでございます。

案としまして、A、B、C の 3 通りを御提示させていただきました。

表の左①が現行の給食費単価でございます。

②が現行の給食費単価に 1 食あたり市の補助分 40 円を加算した額でございます。

③が改定後の単価（案）となっており、増加額としてお示ししております金額が現行の給食費単価からの純増となっております。

学校給食は、学校給食法に基づきまして児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることに鑑み、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的としております。

そのため、学校給食費の算定におきましては、安全で安心なおいしい給食としている学校給食の充実の視点に加えまして、日本の伝統的な食文化や世界の食文化を知ること、また地場産物や国産食材の活用といった食育の視点を取り入れた献立に基づき、適正な給食費を算定するものです。

これまでも栄養士が献立や価格変動が比較的少ない調味料や低廉な作物を活用しながら、地産地消を取り入れつつ、食材調達を工夫しながら、提供してきたところではございますが、消費税の増、エネルギー価格の上昇等を背景に、

食材料価格は年々著しく上昇しております。

7 ページに参考といたしまして、A、B、C の三案とした場合の他自治体との比較表をお示しいたしております。

他自治体においても近年給食費額の改定が相次いでいる状況でございます。

8 ページの 4 学校給食の更なる充実に向けてを御覧ください。

- ・成長期の子どもたちに、栄養価を充足させた、よりおいしい学校給食を提供するために、必要な食材料を確保すること。

- ・子どもたちのニーズを反映させた、より魅力的な学校給食を提供するため、旬な果物等を取り入れていきたい。

- ・多様性に富んだ学校給食を提供することで、さらなる食育の推進に努めること。

この視点を核として更なる充実を目指していきたいと存じます。

本年 4 月につつじヶ丘小学校で実施したアンケート調査結果を参考に、記載の意見が寄せられたところです。

現行の給食費においては、一部単調な献立になることやパンの種別選択の余地がない等の影響も出ております。

一方で給食費が改定された場合、低廉な部位を選択せず、栄養価に添った内容で提供できること、主菜や副菜のおかずの充実が見込まれることからバリエーション豊富な提供が可能となること、生のフルーツの提供量や種類、回数を増やせる、チーズやヨーグルトの増量、手作りジャムやふりかけの提供等

学校給食の質の確保及び更なる充実に努めていきたいと考えております。

9 ページです。

今後のスケジュールにつきましては、本年 11 月中旬に第 3 回学校給食運営審議会におきまして、本審議会にて調査、審議していただきました内容をまとめさせていただき報告書として「答申」をいただく予定でございます。

その後答申につきまして、教育委員会定例会へ答申を報告するとともに令和 8 年 4 月に学校給食費の改定を実施してまいりたいと存じます。

以上、説明をさせていただきました。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

会長

ただいま、事務局より説明がありました「学校給食運営のあり方について」御質問、御意見等ございますか。

委員

前回の審議会の説明を受けて、学校給食費の改定については、使用する食材料の安全や質の高い学校給食のことを考えると必然だと思います。

今回、お示しいただいている改定額の3とおりの案について質問がございます。

各案の価格差については、仮に改定した場合、どのような影響が学校給食に出るのか具体的に知りたいです。

学校給食課長

A案、B案、C案の3案をお示ししておりますが、どの案を選択したとしても、現在の学校給食費と比較すると大幅な改定額となっており、いずれにしても学校給食に係る様々な要素で改善されることが見込まれます。

まず、A案を選択した場合は、近年の食材料の高騰及び高止まり傾向にあることを考えると、令和8年度4月の改定後、間もなく、再度改定が必要になることを見込んでおりますが、現在の食材料費で試算した場合は、余裕のある学校給食費の設定となっております。

また、B案につきましては、学校給食摂取基準に基づく栄養価を満たし、食材料の継続的な上昇を考慮しても、質の高い、多様性のある学校給食の提供ができる設定となっております。

最後に、C案についてですが、理想に近い設定となっており、この案については、仮に選択した場合、多摩26市のなかでも最高値に近い設定となります。

学校給食という、重要性の高いテーマにおいては、この改定案を採用しても御理解はいただけると存じますが、一般的な市民ニーズと照らし合わせた場合、この改定額は影響が大きいと判断しております。

委員

承知いたしました。

会長

他に、御質問等はございますか。

委員

詳細な説明ありがとうございます。

これまでの説明を伺うまで、改定後、最も高い設定となる C 案が一番良いと考えておりました。

子どもたちの視点で捉えれば、高い価格設定の方が、より質の高い学校給食が食べられると考えました。

実際に昭島市で生活をしていて、解決すべき課題はありながらも、子どもたちのことをしっかりと考えてくれていると感じております。

昭島市は、住みたい街ランキングの上位に入り、学校給食の充実は、さらなる街のブランド力向上にもつながり、子育て世代へのアピールにもなると思いました。

一方で、先ほどの質問に対する、御説明を聞き、市民全体の理解が得られないという点では、そのとおりだと思います。

学校給食はやはり、子どもたちの意見を反映させることが重要だと思いますので、私の子どもの意見を聞いてきました。

面白かったので是非、紹介させてください。

・子どものクラスではラーメンの献立が好きな子が多く、一方で、提供回数が少ないため「伝説のラーメン」と話題になっている。

・ABC スープは、自分の名前をマカロニで作れると人気。

・揚げパンが食べたいが、全然出てこない。

・コーヒー牛乳が飲みたいけど、出てこないで「超レア」といっている。

・デザートは、いつもおかわりじゃんけんになり、クラスの半分以上の子が参加している。

・アレルギー対応給食のなかでも、米粉を使用した献立は非常に美味しいと言っている。

以上のように、献立のバリエーションが豊かになると子どもたちの食欲が増し、健康増進につながると思います。

より魅力的な学校給食が提供できるような、学校給食費

の設定が良いと考えます。

様々な御意見をいただいてありがとうございます。何点か取組み状況について回答させていただきます。

まず、ラーメンについてですが、本市では和食献立を推進しており、このため米飯が週のうち約4回を占めることから、麺を使用した献立自体が少なくなります。

また、昨今、学校給食では健康増進の観点から塩分の摂取を控えるような献立を立てており、ラーメンは塩分が比較的多く含まれるため、お子様がお話されているように「伝説のラーメン」と言われるくらいの、提供頻度となっております。

次に、揚げパンについてですが、本市では自校給食方式校、親子調理方式校では、提供していましたが、調理場校は新調理場が稼働後に提供を再開しております。

以前から、人気の献立ではありますが、一方で学校給食に、甘い主食を提供するのかと御意見をいただくこともございます。

このように様々な御意見があるなかで、児童・生徒に人気のある献立は可能な限りに取り入れ、給食が楽しい時間であるようにするため、本日いただいた御意見は栄養士にも共有してまいります。

また、アレルギー対応給食についても、御意見をいただきありがとうございます。

本市においては、まだまだ献立のバリエーション等については研究段階ではございますが、引き続き好評をいただきました米粉パンも含め、楽しんでいただける学校給食を提供できるように取り組んでまいります。

会長

他に、御質問等はございますか。

委員

これまでの説明を聞き、子どもたちが楽しく学校給食を食べるために、様々な工夫がされているなと感じました。

学校給食が楽しい時間であることの重要性は感じながらも、使用する食材についても、検討していただきたいと思います。

現在、子どもたちの生活にはジャンクフードが溢れていて、毎週金曜日はファーストフードを食べている、朝食にインスタントラーメンを食べていると話をする子どもがいます。

このような状況のなかで、質の高い学校給食を食べることの重要性が高まっていると考えます。

武蔵野市では、オーガニック野菜等を取り入れた給食を提供していると聞いております。

学校給食費を改定した場合、武蔵野市のようにオーガニック野菜等の使用が可能なのか、また、検討されているのか教えてください。

学校給食課長

本市では大量調理を前提とした、学校給食にオーガニック食材を取り入れることについては、価格面及び安定的に食材料を調達する点で困難性が高いと判断しております。

現在、地場産物の野菜については、農家の皆様方の御協力もいただき、減農薬野菜を学校給食に使用する機会がございます。

美味しい野菜である反面、実際に使用する際には、虫が付いており洗浄回数が多くなる、規格が不均一でカットに時間を要する等の影響がございます。

これらの食材を使用する際は、事前に調理員等にも周知し、細心の注意を払ってはおりますが、小さな虫の異物混入につながっている事例も発生しております。

子どもたちの体に良いものを使用し、提供するのには学校給食課職員の願いでもあります。単価が非常に高くなる傾向にあり、納入業者との契約合意に至らないことも想定することから、参考の御意見として賜りたいと存じます。

会長

他に、御質問等がございますか。

委員

今回の資料では、改定幅について、1食あたりの単価を比較し、お示しいただいておりますが、保護者の方々は、月額での表示のうえ比較する方が、分かりやすいと思いますがいかがでしょうか。

学校給食課長

資料1の6ページに記載しております。

委員	承知いたしました。
会長	他に、御質問等はございますか。
委員	<p>これまでの議論のなかで、C 案が献立内容等の観点から理想に近い改定額と説明がありましたが、長く改定をしてこなかったのも、非常に大きな上昇幅であると感じます。</p> <p>これでは、何でもっと早い時期に検討されなかったのだろうと思うのが、自然な流れだと思います。</p> <p>学校給食費改定に関わる事務手続きの煩雑さ等については理解しておりませんが、一般論として、食材料等の高騰に合わせ、徐々に改定していくことは検討しないのでしょうか。</p>
学校給食課長	<p>本市では、お示ししているとおり、平成 21 年から 16 年間、学校給食費を据置いております。</p> <p>ただし、市からの 1 食あたりの補助額を増額し、学校給食の質や満たすべき栄養価を維持してまいりました。</p> <p>現在、学校給食費が無償化となり、物価上昇が継続するなかで、市民の方々に理解が得られ、適正な価格設定を行うのは難しい面もあるのが実情でございます。</p> <p>このような状況のなかでは、改定幅が一番大きくなる C 案を選択した場合には、各方面への影響も大きくなると存じます。</p>
会長	他に、御質問等はございますか。
委員	<p>学校給食について、考えるに当たり、良い視点から意見を発言され、協議されているなど感じました。</p> <p>仕事上、長年学校給食に携わり、多くの自治体と様々な取組みをしてきました。</p> <p>武蔵野市の事例についても良く知っており素晴らしい取組みだと思います。</p> <p>一方で、オーガニック野菜（有機野菜）等を学校給食に毎日取り入れるのは、難しい状況下にあります。</p>

1品あたりの購入費用が非常に高額になり、他の食材調達にも影響を与え、献立を作成するうえで、必要な食材量の購入が出来なくなることも想定されます。

前回の本審議会でも意見を申し上げましたが、学校給食費については、安ければ良いとはなりません。子どもたちに必要な栄養素を満たし、健全な育成を担保するに見合った学校給食費の設定が必要です。

その観点で考えた場合、食材料が高騰している昨今の状況を考えると、もっと早い段階で改定を協議すべきであったと感じています。

一方で、高ければ良いということでもありません。しっかりとした根拠がなければ、市民の方々に説明ができません。

一番大切なのは、昭島市が子どもたちに学校給食を提供するうえで掲げている「昭島市学校給食基本理念」及び「学校給食の基本方針」に照らし合せ、それを満たせる学校給食費となっているかという観点で考えることです。

また、中長期的に見ても食材料費が今後、安くなることは考えにくく、実際に令和7年度の新米が市場に出回っても、価格は高止まりしております。

このような状況に鑑み、資料で提示されているA案では、改定しても間もなく、子どもたちに必要な栄養素等が満たせなく可能性が高い。

一方で、C案では市民の方々に御理解をいただくうえで現時点では根拠が乏しいと思います。

以上から、資料にもあるとおり、食材料費の推移に基づき試算した、不足する見込みの食材料費を補い、かつ「昭島市学校給食基本理念」及び「学校給食の基本方針」にあるような子どもたちの成長のため栄養バランスを満たし、安定した学校給食の提供を図れ、子どもたちのニーズにも対応ができるB案とすることが現時点では最良だと考えます。

本審議会では、B案を改定額とし、事務局により再度詳細について検討のうえ、まとめていただき、11月に開催予定の第3回学校給食運営審議会において、「答申」をする流れでいかがでしょうか。

会長

委員により、本審議会を総括していただきました。ありがとうございました。

他に、御質問等はございますか。

御質問がないようですので、次の議事に移ります。

それでは、本日最後になりますが、「2 その他」について、事務局より何かございますか。

学校給食課長

学校給食費改定については、令和7年第3回学校給食運営審議会までに、本日御審議を賜りました内容を整理の上お示しさせていただき、御一任をいただく運びとさせていただきますので、宜しくお願い申し上げます。

また、1点案内がございます。

令和7年11月15日（土）にアキシマエンス体育館において「食育シンポジウム」を開催いたしますので、休日ではございますが、足をお運びいただきたいと存じます。

会長

委員の皆様から、何かございますか。

特にないようでしたら、本日予定した日程は全て終わりましたので、令和7年度第2回昭島市学校給食運営審議会を閉会といたします。御協力ありがとうございました。

【出席委員】

小瀬会長、堀田副会長、森本委員、小原委員、五藤委員
金杉委員、佐々木委員、鎌田委員、阿部委員、藤本委員
杉山委員、伊東委員、乙津委員、小山委員

【欠席委員】

落合委員